

# 第6回 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会 総会・学術講演会

The 6th Annual Meeting of The Japan Society for Infection and Aerosol in Otorhinolaryngology

## プログラム集



会期：2018年9月7日(金)～9月8日(土)

会場：石川県教育会館(金沢市)

会長：三輪高喜(金沢医科大学耳鼻咽喉科)

# **第 6 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会 総会・学術講演会**

会期：平成 30 年 9 月 7 日（金）・8 日（土）

会場：石川県教育会館  
（金沢市香林坊 1-2-40）

**会長：三輪 高喜**

**金沢医科大学耳鼻咽喉科**

# ご挨拶

第6回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会総会・学術講演会  
会長 三輪 高喜（金沢医科大学耳鼻咽喉科）

この度、第6回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会総会ならびに学術講演会を担当させていただきこととなり、大変光栄に存じます。また、黒野祐一理事長をはじめ、学会役員の皆様ならびに会員の皆様に深く感謝申し上げます。

研究会も含めて本学会を金沢医科大学が主幹しますのは、1979年に山下公一教授が第9回耳鼻咽喉科日本感染症研究会を、2005年に友田幸一教授が第35回日本耳鼻咽喉科感染症研究会、第29回日本医用エアロゾル研究会を開催して以来、3回目の開催となります。その間に耳鼻咽喉科における感染症、エアロゾル療法の環境が変わるとともに、金沢の街も大きく様変わりしました。3回目ではありますが、これまでとは異なる学会、そして金沢をご覧いただけるかと存じます。



今回の学会は、「多職種共同で挑む感染症対策・エアロゾル療法」をテーマとして開催させていただきます。多職種には内科、小児科、感染症科など他科の医師のみならず、薬剤師、検査技師、臨床工学士など幅広い分野を含めての多職種の関与を意図しております。そして様々な角度からの疾患へのアプローチを行い、疾患に立ち向かうことを意味しています。職種が変われば疾患の見方も異なってきますので、ご参加の皆様には、新たな知識を得ていただければ主催者として本望でございます。

今回の大会でも従来と同様、感染症シンポジウムとエアロゾルシンポジウムの2つのシンポジウムを企画しました。感染症シンポジウムでは、「多職種連携で挑む致死性感染症」と題して診断と治療を誤ると死も招きかねない重症感染症を取り上げ、耳鼻咽喉科若手医師の創意工夫をご発表いただくとともに、感染症学の立場からのアドバイスをいただきます。エアロゾルシンポジウムでは、「有効的な吸入療法」と題して、耳鼻咽喉科の先生のみならず、小児科ならびに薬学部の先生にもシンポジストとして加わっていただき、討論を繰り広げていただきます。

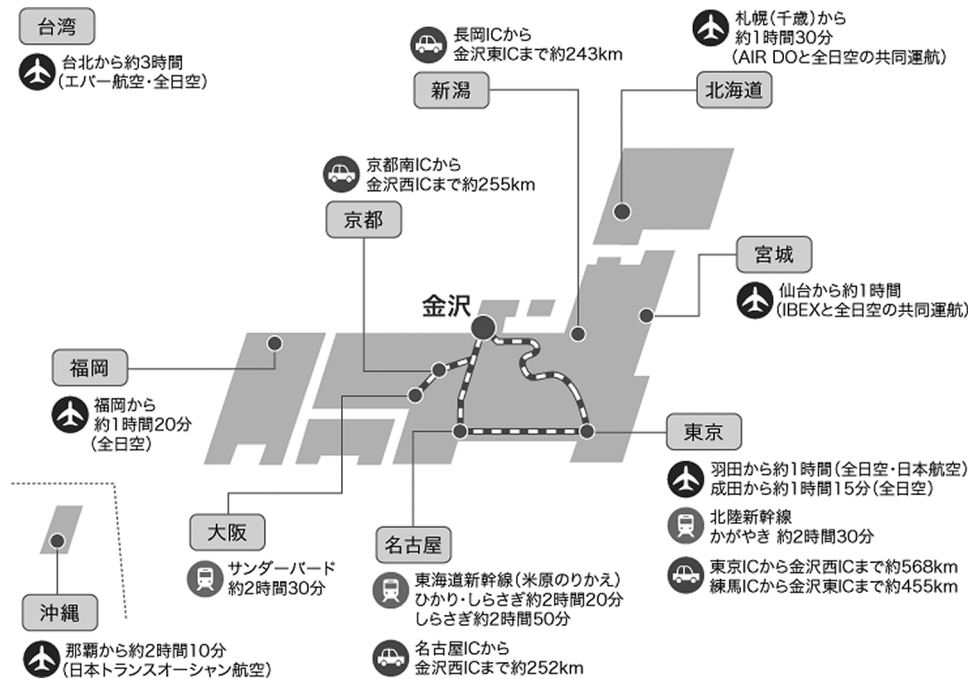
海外招聘講演としまして、米国バージニア州立大学薬学部の阪上正裕教授をお招きして、海外で研究者として生きていく上での厳しさと素晴らしさをお話しいたします。また、教育講演としまして、守本倫子先生に小児の感染症について特に中耳炎とワクチン、ムンプス難聴などを中心にお話しいただく予定であります。

今回、新たな企画としまして、これまで学会終了後に独立して開催していましたICD講習会を、学会のプログラムとして同時開催することとなりました。ICD講習会がプログラムに組み込まれるに当たり、鈴木賢二前理事長には多大なご尽力を賜りましたことを感謝いたします。本セミナーは、専門医共通講習（感染対策）も兼ねておりますので、多数ご参加ください。

本大会は、奇しくも昨年、開催しました第30回日本口腔・咽頭科学会と全く同じ日の開催となりました。しかし、今回の会場は金沢の街中で、目の前には金沢城公園があり、更に兼六園、金沢21世紀美術館、武家屋敷も歩いて行けるところに位置しています。学会で疲れた頭と目を癒していただければと思います。この時期は加賀、能登の夏と秋の味覚が両方揃う贅沢な時期でもあります。昨年来られなかった方は是非ともお越しいただき、来られた方もリピーターとして見逃したところを見て、山海の幸を堪能していただければ幸いです。教室員一同、心を込めておもてなしいたしますので、多くの皆様にお越しいただけますようお願い申し上げます。

# 交通案内

## 金沢市へのアクセス

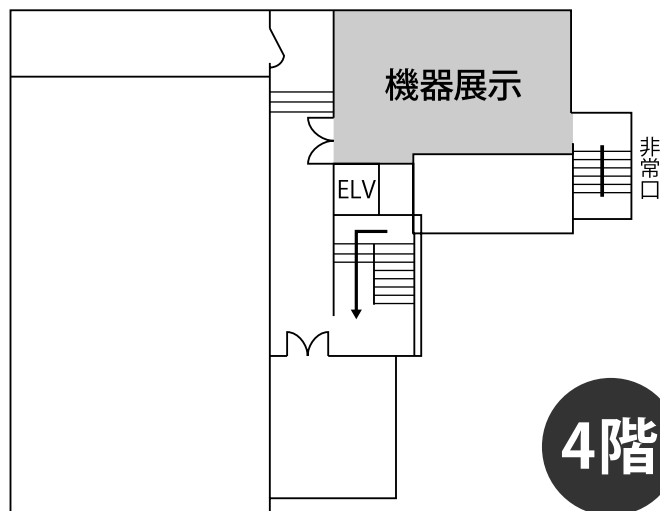
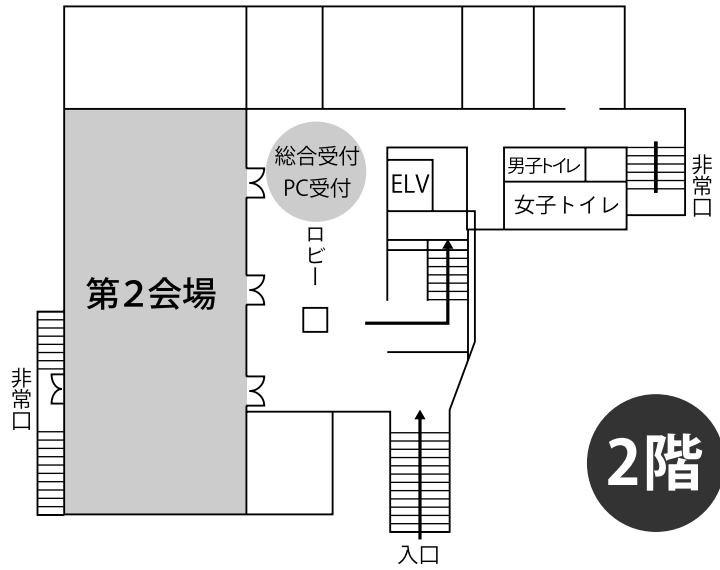


- ・小松空港から金沢駅まで リムジンバス、タクシーで40分
  - ・金沢東インター、金沢西インターから金沢駅まで 車で15分
- 金沢市観光協会HPより



- ・石川県教育会館 金沢市香林坊1-2-40  
J R北陸本線「金沢」駅よりバス 15分「香林坊」下車徒歩2分

# フロアマップ



# お知らせ

---

## 1 会期

平成 30 年 9 月 7 日（金）・8 日（土）

## 2 会場・受付

石川県教育会館

〒 920-0961 金沢市香林坊 1-2-40

TEL：076-222-1241

[参加受付]

・日時：9 月 7 日（金）8：30～18：00

9 月 8 日（土）8：30～16：30

・場所：総合受付（2 階ロビー）

・会場整理費：医師 10,000 円

コメディカル 3,000 円

研修医・学生（医学部以外の大学院生を含む）無料

・ネームカード（参加証明書）に所属・氏名をご記入のうえ、会期中は必ずご着用ください。

・コメディカル / 研修医・学生（医学部以外の大学院生を含む）の方は、受付の際に学生証などの身分が証明できるものをご提示ください。

[入会受付]

・会場受付にて新入会員の登録を行います。

入会金：1,000 円 年会費：10,000 円

## 3 一般演題の演者の方へ

1) 発表時間は 7 分、討論は 3 分です。講演時間厳守でお願いします。

2) スクリーンは 1 面で、PC プレゼンテーションのみの対応となります。

3) 発表データを USB メモリーまたは CD-R で PC 受付にご提出願います。

4) 事務局で用意する PC の OS は Windows 7 です。プレゼンテーション作成ソフトは PowerPoint2007, 2010, 2013 の 3 つのバージョンが対応可能です。（2016 には対応していません。）動画ソフトは Windows Media Player が対応可能です。フォントは Windows 標準のものをご使用ください。上記以外の環境で作成された発表データに関しては動作保証しかねますので、ご自身の PC をご持参ください。また、Macintosh をお使いの先生は、ご自身の PC を持参してください。事務局では D-sub15 ピンのケーブルを用意いたします。AC ケーブルと一部の PC では本体付属のコネクターが必要になる場合がありますので各自持参してください。

5) 発表データは当該群開始時間 30 分前までに **PC 受付**にご提出ください。

6) 発表者ツールは使用できません。

## 4 プログラム・抄録集

当日、プログラム・抄録集の購入を希望される方は、総合受付へお越しください。

一部 2,000 円で販売いたします。

## 5 機器展示

9 月 7 日（金）・8 日（土）に機器展示は 3 階ロビーと 4 階機器展示会場にて行います。

## 6 役員会

### ○理事会

9月6日(木) 14:00~16:00

しいのき迎賓館 ガーデンルーム

### ○評議員会

9月6日(木) 16:00~17:00

しいのき迎賓館 セミナールーム

## 7 総会

9月7日(金) 15:40~16:10

日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会総会 第1会場にて行います。

## 8 会員懇親会

9月7日(金) 19:00より金沢東急ホテル5階ボールルームにて日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会員懇親会を行います。

会員懇親会は無料でご参加いただけます。名札をご着用ください。

## 9 単位取得

### 1) 学術業績・診療以外の活動実績(2単位)

当学術講演会に参加して、専門医証の受付をすることで、学術業績・診療以外の活動実績として2単位を取得できます。

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の方は、平成30年度の「耳鼻咽喉科専門医証(IDカード)」または「学術集会参加報告票」をご用意のうえ、「日本耳鼻咽喉科学会専門医登録受付」にて、受付を行ってください。尚、学術集会参加票をお忘れの方は、「ネームカードのコピーとともに学術集会参加票」を学会終了後1週間以内に学会事務局までご郵送ください。

### 2) 領域講習、共通講習の単位について

耳鼻咽喉科領域講習対象セッションを受講することで1講演につき1単位(上限2単位)を取得できます。

また、共通講習を受講することで1セッション1単位(医療倫理、感染対策各1単位)を取得できます。

#### 耳鼻咽喉科領域講習対象セッション

9月7日(金) 14:30~15:30(第1会場) 教育講演

9月7日(金) 16:10~17:40(第1会場) エアロゾルシンポジウム

9月8日(土) 10:30~12:00(第1会場) 感染症シンポジウム

#### 共通講習対象セッション

9月7日(金) 13:20~14:20(第1会場) 招待講演(医療倫理)

9月8日(土) 15:00~16:30(第2会場) 専門医共通講習(感染対策)

専門医共通講習(感染対策)は第1会場でのICD講習会の中継となります。

同時にICDの単位取得希望の方は、ICD講習会の事前申し込みを行い、第1会場を受講の後、引換券を持参し第2会場を受講証明証をお受取りください。

専門医登録受付時に「領域講習受講用紙」2枚と、「共通講習受講用紙」2枚をお渡しいたします。退出時に「受講用紙」と引き換えに「受講証明書」を配布します。

講習開始以降に入場はできません。また、「受講用紙」の再発行もできませんので各自忘れずにお持ちください。

### 3) 第 286 回 ICD 講習会 15 単位

9月8日(土) 15:00～16:30 に第1会場にて開催いたします。

テーマ「多剤耐性菌の感染制御と対策」

ICD 講習会に参加される方は ICD 協議会事務局に事前申込みが必要です。

ICD 講習会受講者で、専門医共通講習の受講単位希望の方は、大会受付にて受付のうえ、共通講習受講用紙をお受け取り下さい。講習会終了後、第2会場にて、受講用紙と引き換えに「受講証明書」を配布します。

## 10 その他

会場内は全て禁煙ですので、館内での喫煙はお断りいたします。

会場内では携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定をお願いいたします。

## 11 連絡先

[大会事務局]

金沢医科大学耳鼻咽喉科学

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

TEL: 076-286-2211 FAX: 076-286-5566

E-mail: iao6@kyodo-cs.com

## 学術講演会にてご発表される演者の先生方へ

### 入会のお願い

筆頭演者は正会員、共同演者は正会員または臨時会員であることが条件となっております。

◇正会員：入会金 ¥1,000, 年会費 ¥10,000

◇臨時会員：入会金不要, 年会費 ¥5,000 (1年度のみ入会, 会誌の送付はされません。)

未入会の方は当学会ホームページより入会申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学会事務局まで郵送ください。

日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-11 浜田ビル6階

中西印刷株式会社東京営業部内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: jsiao@nacoss.com



## 利益相反（COI）の開示について

筆頭発表者は、発表スライドの一枚目に、今回の発表演題に関連する COI 状態を開示してください。  
※詳細は、大会ホームページ (<http://www.jsiao.umin.jp/5th/coi/>) の「利益相反（COI）の開示について」をご参照の上、様式をダウンロードして使用してください。

### \*スライドおよびポスター開示例

#### 様式 1-A【申告すべき COI 状態がない時】

日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会 COI 開示 筆頭発表者名： ○○ ○○ 演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある 企業などはありません。
--

#### 様式 1-B【申告すべき COI 状態がある時】

日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会 COI 開示 筆頭発表者名： ○○ ○○ 演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などとして	
① 顧問：	なし
② 株保有・利益：	なし
③ 特許使用料：	なし
④ 講演料：	なし
⑤ 原稿料：	なし
⑥ 受託研究・共同研究費：	○○製薬
⑦ 奨学寄付金：	○○製薬
⑧ 寄付講座所属：	あり（○○製薬）
⑨ 贈答品などの報酬：	なし

## 倫理的配慮について

下記内容を、口演発表の場合には一言述べてください。

- ・臨床研究について発表される方：ヘルシンキ宣言を遵守して遂行されている。
- ・遺伝子関連の研究について発表される方：三省合同「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に沿って遂行されている。

# 日程表 [平成 30 年 9 月 7 日 (金)]

	第 1 会場 3階:ホール	第 2 会場 2階:第1会議室
8:00		
9:00	8:55~9:00 <b>開会の辞</b> 9:00~10:10 <b>第1群: 頸部</b> 座長: 鈴木幹男, 堀井 新	9:00~10:10 <b>第5群: 喉頭</b> 座長: 室野重之, 余田敬子
10:00	10:10~11:20 <b>第2群: 頸部・縦隔</b> 座長: 近松一朗, 吉川 衛	10:10~11:10 <b>第6群: ウイルス</b> 座長: 村上信五, 春名真一
11:00	11:20~12:00 <b>第3群: 肺炎・全身感染症</b> 座長: 河田 了, 生駒 亮	11:10~12:00 <b>第7群: レミエール症候群</b> 座長: 山下裕司, 原 浩貴
12:00		
13:00	12:10~13:10 <b>ランチョンセミナー1</b> 短時間で習得する内科医の咳の診かた〜診断から治療薬の使い分けまで〜 司会: 内藤健晴 講師: 丸毛 聡 共催: 杏林製薬株式会社	12:10~13:10 <b>ランチョンセミナー2</b> 環境真菌がアレルギー性気道性疾患に及ぼす影響について 〜医用エアロゾル療法と抗ヒスタミン薬の役割〜 司会: 友田幸一 講師: 小川晴彦 共催: 大鵬薬品工業株式会社
14:00	13:20~14:20 <b>招待講演 (医療倫理)</b> (共) 米国における研究倫理 エアロゾル, キャリアパスそしてなぜ米国アカデミア 司会: 黒野祐一 講師: 阪上正裕	
15:00	14:30~15:30 <b>教育講演</b> (領) 予防できる小児の耳鼻咽喉科疾患 司会: 川内秀之 講師: 守本倫子	
16:00	15:40~16:10 <b>総会</b>	
17:00	16:10~17:40 <b>エアロゾルシンポジウム</b> (領) 有効的な吸入療法 司会: 大木幹文, 兵 行義 講師: 中村利美, 兵 行義, 高畑淳子, 平 大樹, 鈴木元彦	16:10~17:10 <b>第8群: 結核</b> 座長: 山田武千代, 都築建三
18:00	17:50~18:40 <b>第4群: STD</b> 座長: 鈴木賢二, 鈴木正志	17:10~17:50 <b>第9群: 基礎</b> 座長: 清水猛史, 田中康広
19:00		17:50~18:30 <b>第10群: 顔面神経</b> 座長: 佐藤宏昭, 小林正佳
20:00	19:00~21:00 <b>会員懇親会</b> 金沢東急ホテル 5階 ポールルーム	
21:00		

# 日程表 [平成 30 年 9 月 8 日 (土)]

	第 1 会場 3階:ホール	第 2 会場 2階:第1会議室
8:00		
9:00	9:00~10:00 <b>第11群:鼻副鼻腔1</b> 座長:原淵保明, 松原 篤	9:00~10:00 <b>第14群:耳1</b> 座長:吉崎智一, 伊藤真人
10:00	10:00~10:30 <b>第12群:感染対策</b> 座長:保富宗城	10:00~11:00 <b>第15群:耳2</b> 座長:阪上雅史, 西崎和則
11:00	10:30~12:00 <b>感染症シンポジウム</b> 多職種で挑む致死性感染症 司会:竹内万彦, 小林一女 講師:高橋邦行, 森 恵莉, 宮澤 徹, 平野康次郎 追加発言:矢野寿一	11:00~12:00 <b>第16群:鼻副鼻腔2</b> 座長:太田伸男, 吉山友二
12:00		12:10~13:10 <b>ランチョンセミナー3</b> 抗菌薬に対する薬剤耐性 (AMR) 菌時代の 小児急性中耳炎の治療と診断 —「小児急性中耳炎診療ガイドライン2018年版」を読み解く— 司会:吉原俊雄 講師:宇野芳史 共催:Meiji Seikaファルマ株式会社
13:00		
13:20~14:10	<b>第13群:鼻副鼻腔3</b> 座長:池田勝久, 岡野光博	13:20~14:00 <b>第17群:咽頭1</b> 座長:中田誠一, 山下 拓
14:00		14:00~14:50 <b>第18群:咽頭2</b> 座長:將積日出夫, 竹内裕美
15:00	15:00~16:30 <b>第286回ICD講習会</b> 「多剤耐性菌の感染制御と対策」 司会:矢野寿一, 飯沼由嗣 講師:飯沼由嗣, 矢野寿一, 林 達哉, 河合泰宏	15:00~16:30 <b>専門医共通講習(感染対策)</b> 「多剤耐性菌の感染制御と対策」 司会:矢野寿一, 飯沼由嗣 講師:飯沼由嗣, 矢野寿一, 林 達哉, 河合泰宏 <b>&lt;第1会場からの中継&gt;</b>
16:00		16:30~16:35 <b>閉会の辞</b>
17:00		
18:00		
19:00		
20:00		
21:00		

# プログラム

---

9月7日 **金** 8:55～9:00 第1会場（3階：ホール）

## 開会の辞

三輪 高喜（金沢医科大学）

---

9月7日 **金** 9:00～10:10 第1会場（3階：ホール）

## 第1群：頸部

座長：鈴木幹男（琉球大学）

堀井 新（新潟大学）

### 1 第一鰓裂由来の形態異常に感染を反復し、手術治療を必要とした小児の1例

○草野 佑典, 日高 浩史, 香取 幸夫  
東北大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 2 毛包炎から発展した後頸部膿瘍の1例

○平林 源希, 武富 弘敬, 安藤 裕史  
総合病院旭中央病院耳鼻咽喉科

### 3 歯源性深頸部膿瘍の臨床的検討

○久徳 貴之, 井内 寛之, 河島 雅樹, 大堀 純一郎, 黒野 祐一  
鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 4 頸部リンパ節腫脹の2例（菊池病とその疑い症例について）

○岩田 昇<sup>1</sup>, 木村 文美<sup>1</sup>, 稲田 紘也<sup>1</sup>, 中田 誠一<sup>1</sup>, 鈴木 賢二<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
<sup>2</sup>医療法人尚徳会ヨナハ総合病院耳鼻咽喉科

### 5 トキソプラズマ性頸部リンパ節炎の1例

○實川 純人, 山崎 徳和  
函館五稜郭病院耳鼻咽喉科

### 6 上顎智歯周囲炎が原因と考えられた側頭部膿瘍の1例

○坂口 雄介, 今井 貫太, 今野 渉, 後藤 一貴, 平林 秀樹, 春名 眞一  
獨協医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 7 化膿性脊椎炎から頸部膿瘍に進展した2症例

○太田 伸男, 角田 梨紗子, 鈴木 貴博, 野口 直哉, 八木沼 裕司, 東海林 史  
東北医科薬科大学耳鼻咽喉科

**第2群: 頸部・縦隔**

座長: 近松一朗(群馬大学)

吉川 衛(東邦大学医療センター大橋病院)

**8 頸部蜂窩織炎との鑑別が困難であった頸部壊死性筋膜炎の1例**

○杉田 侑己, 阪上 智史, 八木 正夫, 鈴鹿 有子, 岩井 大  
関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**9 頸部壊死性筋膜炎により不幸な転帰をたどった1例**

○上田 寛, 新井 宏幸, 神前 英明, 大脇 成広, 清水 猛史  
滋賀医科大学耳鼻咽喉科

**10 化学放射線治療後に化膿性脊椎炎を生じた2例**

○平野 隆, 立山 香織, 伊東 和恵, 赤嶺 苑佳, 鈴木 正志  
大分大学耳鼻咽喉科

**11 頸部から縦隔, 前胸部に広範な膿瘍形成を来した1例**

○椎名 和弘, 小泉 洸, 山田 武千代  
秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**12 降下性壊死性縦隔炎に進展した咽後膿瘍の1例**

○照喜名 玲奈, 鈴木 幹男  
琉球大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**13 段階的手術を要した降下性縦隔炎の2症例**

○中原 啓  
りんくう総合医療センター耳鼻咽喉科

**14 化膿性脊椎炎により生じた多発性椎前部および縦隔膿瘍の1例**

○長谷川 雅世, 高橋 枝里, 吉田 尚弘  
自治医科大学附属さいたま医療センター耳鼻咽喉科

**第3群: 肺炎・全身感染症**

座長: 河田 了(大阪医科大学)

生駒 亮(横浜南共済病院)

**15 喉頭摘出後に溺水しレジオネラ肺炎を発症した1例**

○渡部 佑, 小山 哲史, 中村 陽祐, 竹内 裕美  
鳥取大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**16 急性上咽頭炎を合併したマイコプラズマ肺炎の1例**

○富山 道夫  
とみやま医院

## 17 不明熱の原因として腎血管筋脂肪腫が疑われた1症例

○小林 優子<sup>1</sup>, 肥後 隆三郎<sup>1</sup>, 春山 琢男<sup>1</sup>, 山内 宏一<sup>1</sup>, 塩澤 晃人<sup>1</sup>, 陶 美梨<sup>1</sup>,

大庭 亜由子<sup>1</sup>, 井出 琢磨<sup>1</sup>, 池田 勝久<sup>2</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学浦安病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>順天堂大学医学部耳鼻咽喉科

## 18 当科で経験した破傷風の4例

○佐藤 宏紀, 小崎 真也, 吉村 理

市立札幌病院耳鼻いんこう科甲状腺外科

---

9月7日 **金** 12:10～13:10 第1会場(3階:ホール)

### ランチョンセミナー1

司会: 内藤健晴 (藤田保健衛生大学)

短時間で習得する内科医の咳の診かた～診断から治療薬の使い分けまで～

○丸毛 聡

田附興風会医学研究所北野病院呼吸器センター

共催: 杏林製薬株式会社

---

9月7日 **金** 13:20～14:20 第1会場(3階:ホール)

### 招待講演 共通講習(医療倫理)

司会: 黒野祐一 (鹿児島大学)

米国における研究倫理 エアロゾル、キャリアパスそしてなぜ米国アカデミア

○阪上 正裕

Virginia Commonwealth University, School of Pharmacy

---

9月7日 **金** 14:30～15:30 第1会場(3階:ホール)

### 教育講演 耳鼻咽喉科領域講習

司会: 川内秀之 (島根大学)

予防できる小児の耳鼻咽喉科疾患

○守本 倫子

国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科

---

9月7日 金 15:40～16:10 第1会場(3階:ホール)

## 総会

---

9月7日 金 16:10～17:40 第1会場(3階:ホール)

## エアロゾルシンポジウム「有効的な吸入療法」

耳鼻咽喉科領域講習

司会：大木幹文(北里大学メディカルセンター耳鼻咽喉科)

兵 行義(川崎医科大学耳鼻咽喉科)

### 1 小児気管支喘息における吸入療法

○中村 利美  
金沢医科大学小児科

### 2 エアロゾル療法の基本的考え方

○兵 行義  
川崎医科大学耳鼻咽喉科

### 3 鼻副鼻腔領域における局所・ネブライザー療法

○高畑 淳子  
弘前大学耳鼻咽喉科

### 4 吸入療法の適正化に向けた吸入指導と医薬連携の重要性

○平 大樹<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>立命館大学薬学部  
<sup>2</sup>滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部

### 5 咽喉頭疾患に対するネブライザー

○鈴木 元彦  
名古屋市立大学耳鼻咽喉科

---

9月7日 金 17:50～18:40 第1会場(3階:ホール)

## 第4群:STD

座長：鈴木賢二(医療法人尚徳会ヨナハ総合病院)

鈴木正志(大分大学)

### 19 血清梅毒反応検査により診断に至った咽頭梅毒の1例

○鈴木 恵理  
三重県立総合医療センター耳鼻咽喉科

### 20 扁桃梅毒の1例

○脇坂 理紗, 高原 幹, 岸部 幹, 片田 彰博, 林 達哉, 原 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 21 梅毒性頸部リンパ節炎が疑われた 1 例

○滝本 泰光<sup>1</sup>, 水谷 哲<sup>2</sup>, 松代 直樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪警察病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>大阪警察病院感染管理センター

## 22 梅毒性頸部リンパ節炎の 1 例

○酒谷 英樹, 武田 早織, 平岡 政信, 保富 宗城

和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 23 最近の 1 年間に当科で経験した咽頭症状から診断に至った性感染症の 3 症例

○谷野 絵美, 余田 敬子

東京女子医科大学東医療センター耳鼻咽喉科

---

9月7日 **金** 9:00 ~ 10:10 第2会場 (2階: 第1会議室)

### 第5群: 喉頭

座長: 室野重之 (福島県立医科大学)

余田敬子 (東京女子医科大学東医療センター)

## 24 喉頭乳頭腫におけるうがい液中 HPV DNA 検出

○室野 重之<sup>1</sup>, 垣野内 景<sup>1</sup>, 吉崎 智一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学耳鼻咽喉科学

<sup>2</sup>金沢大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 25 著明な喉頭所見を呈したスウィート病の 1 症例

○小西 一夫<sup>1</sup>, 林 大輔<sup>2,3</sup>, 赤井 真弓<sup>4</sup>

<sup>1</sup>石切生喜病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>大阪市立大学皮膚科

<sup>3</sup>石切生喜病院皮膚科

<sup>4</sup>石切生喜病院内科

## 26 特発性肺線維症急性増悪後に生じた喉頭真菌症の 1 例

○松田 恭典, 竹内 万彦

三重大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 27 ムンプスウイルス感染症に伴う喉頭浮腫を来した 3 例

○安田 愛来<sup>1</sup>, 中村 真浩<sup>1,3</sup>, 角田 篤信<sup>3</sup>, 肥後 隆三郎<sup>2</sup>, 池田 勝久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学耳鼻咽喉頭頸科

<sup>2</sup>順天堂大学浦安病院耳鼻咽喉科

<sup>3</sup>順天堂大学練馬病院耳鼻咽喉頭頸科



**28** 当科において急性喉頭蓋炎と診断された 105 例の内訳（喉頭蓋周辺の炎症性疾患を見逃すな）

○福井 研太, 阪上 智史, 八木 正夫, 岩井 大  
関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**29** 小児の喉頭放線菌症の 1 例

○勢井 洋史, 麻生 沙和, 羽藤 直人  
愛媛大学耳鼻咽喉科

**30** 喉頭浮腫を伴った急性耳下腺炎例

○中野 光花, 清水 啓成, 篠原 宏, 菱村 祐介  
河北総合病院耳鼻咽喉科

---

9月7日 **金** 10:10～11:10 第2会場（2階：第1会議室）

**第6群：ウイルス**

座長：村上信五（名古屋市立大学）  
春名眞一（獨協医科大学）

**31** ヘルペス咽頭炎を疑った症例

○藤原 由貴, 山下 裕司, 菅原 一真, 西村 省吾  
山口大学耳鼻咽喉科

**32** 当科で経験した無菌性髄膜炎例

○福井 健太<sup>1</sup>, 生駒 亮<sup>1</sup>, 児矢野 繁<sup>2</sup>, 折館 伸彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 横浜南共済病院耳鼻咽喉科  
<sup>2</sup> 横浜南共済病院神経内科  
<sup>3</sup> 横浜市立大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**33** 当科ステロイド治療における肝炎ウイルス再活性化対策

○浜本 真一, 兵 行義, 福島 久毅, 雑賀 太郎, 藤田 祥典, 原 浩貴  
川崎医科大学耳鼻咽喉科

**34** 当院における急性感音難聴患者に対するステロイド加療による B 型肝炎増悪の有無の検討

○田中 義人<sup>1,2</sup>, 平野 康次郎<sup>1</sup>, 小林 一女<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 昭和大学耳鼻咽喉科学  
<sup>2</sup> 小田原市立病院耳鼻咽喉科

**35** 伝染性単核球症様症候群の経験

○稲田 紘也<sup>1</sup>, 木村 文美<sup>1</sup>, 岩田 昇<sup>1</sup>, 中田 誠一<sup>1</sup>, 鈴木 賢二<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院耳鼻咽喉科  
<sup>2</sup> ヨナハ総合病院

### 36 伝染性単核球症から脾裂傷・出血をきたした1例

○中里 瑛<sup>1</sup>, 赤荻 勝一<sup>1</sup>, 將積 日出夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>富山赤十字病院耳鼻いんこう科

<sup>2</sup>富山大学大学院医学薬学研究部耳鼻咽喉科頭頸部外科

---

9月7日 金 11:10～12:00 第2会場(2階:第1会議室)

### 第7群:レミエール症候群

座長:山下裕司(山口大学)

原 浩貴(川崎医科大学)

### 37 当科で経験したレミエール症候群の1例

○岩元 翔吾, 犬塚 雄貴, 日江井 裕介, 吉岡 哲志, 櫻井 一生, 内藤 健晴

藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科

### 38 頸部膿瘍から敗血症性肺塞栓症を併発したLemierre症候群の1例

○清水 龍吾<sup>1</sup>, 近松 一朗<sup>2</sup>

<sup>1</sup>公立館林厚生病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>群馬大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 39 *Klebsiella pneumoniae*による悪性外耳道炎から波及したLemierre症候群の1例

○小木 学<sup>1</sup>, 高橋 邦行<sup>2</sup>, 八木 千裕<sup>2</sup>, 山岸 達矢<sup>2</sup>, 大島 伸介<sup>2</sup>, 森田 由香<sup>2</sup>, 堀井 新<sup>2</sup>

<sup>1</sup>魚沼基幹病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>新潟大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 40 内頸静脈血栓を伴った扁桃周囲膿瘍の1例

○西前 徳繁<sup>1,2</sup>, 山田 健太郎<sup>1,2</sup>, 中村 有加里<sup>2</sup>, 三輪 高喜<sup>2</sup>

<sup>1</sup>公立能登総合病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>金沢医科大学耳鼻咽喉科

### 41 急性扁桃炎を契機として発症したLemierre症候群

○原 聡, 本間 博友, 城所 淑信, 本間 彩, 大庭 亜由子, 楠 威志

順天堂大学静岡病院耳鼻咽喉科

---

9月7日 金 12:10～13:10 第2会場(2階:第1会議室)

### ランチオンセミナー2

司会:友田幸一(関西医科大学)

環境真菌がアレルギー性気道性疾患に及ぼす影響について～医用エアロゾル療法と抗ヒスタミン薬の役割～

○小川 晴彦

石川県済生会金沢病院内科

共催:大鵬薬品工業株式会社

## 第8群:結核

座長:山田武千代(秋田大学)  
都築健三(兵庫医科大学)

### 42 BCG菌による結核性頸部リンパ節炎の1例

○富里 周太<sup>1</sup>, 山口 宗太<sup>1</sup>, 奥羽 譲<sup>1</sup>, 宮入 烈<sup>2</sup>, 守本 倫子<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 成育医療研究センター耳鼻咽喉科

<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター感染症科

### 43 結核患者に対する気管切開時の対応

○張田 雅之, 山田 健太郎, 宮澤 徹, 三輪 高喜

金沢医科大学耳鼻咽喉科

### 44 頸部リンパ節結核を合併した頬粘膜癌手術例

○新井 宏幸, 神前 英明, 清水 猛史

滋賀医科大学耳鼻咽喉科

### 45 当科で経験した肺外結核の3例

○山中 俊平, 岸本 真由子, 小川 徹也, 植田 広海

愛知医科大学耳鼻咽喉科

### 46 喉頭結核を合併した活動性肺結核の1症例

○布施 慎也, 杉山 庸一郎, 平野 滋

京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 47 耳鼻咽喉科外来を受診し肺結核が判明した2例

○鈴村 美聡<sup>1</sup>, 鈴村 恵理<sup>2</sup>, 竹内 万彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

<sup>2</sup> 三重県立総合医療センター耳鼻いんこう科

## 第9群:基礎

座長:清水猛史(滋賀医科大学)

田中康広(獨協医科大学埼玉医療センター)

### 48 肺炎球菌およびインフルエンザ菌の上皮細胞接着に対するホスホリルコリン重合体の阻害効果

○井内 寛之, 久徳 貴之, 川島 雅樹, 黒野 祐一

鹿児島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

#### 49 唾液マイクロバイオーーム組成と免疫制御との関連

○岡野 光博<sup>1,2</sup>, 湯田 厚司<sup>3</sup>, 岡 愛子<sup>4</sup>, 小川 由起子<sup>3</sup>, 春名 威範<sup>5</sup>, 檜垣 貴哉<sup>2</sup>, 仮谷 伸<sup>2</sup>,  
小山 貴久<sup>2</sup>, 西崎 和則<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 国際医療福祉大学耳鼻咽喉科

<sup>2</sup> 岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

<sup>3</sup> ゆたクリニック

<sup>4</sup> 国立病院機構四国がんセンター

<sup>5</sup> 姫路赤十字病院耳鼻咽喉科

#### 50 仔マウスにおける肺炎球菌の鼻咽腔保菌に受動喫煙が及ぼす影響

○村上 大地, 河野 正充, 酒谷 英樹, 保富 宗城

和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

#### 51 高張食塩水点鼻による鼻および口呼吸凝集液中過酸化水素量の変動

○酒主 敦子<sup>1</sup>, 三輪 正人<sup>1</sup>, 大久保 由布<sup>1</sup>, 佐藤 一樹<sup>1</sup>, 村上 亮介<sup>1</sup>, 大久保 公裕<sup>1</sup>,  
飯島 史郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 日本医科大学耳鼻咽喉科

<sup>2</sup> 文京学院大学保健医療技術学部臨床検査学科

---

9月7日 **金** 17:50～18:30 第2会場(2階:第1会議室)

### 第10群: 顔面神経

座長: 佐藤宏昭(岩手医科大学)

小林正佳(三重大学)

#### 52 顔面神経麻痺を伴わない不全型 Ramsay Hunt 症候群の1例

○松井 秀仁, 松浦 賢太郎, 和田 弘太

東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科

#### 53 顔面神経麻痺で発症した再発性多発軟骨炎の1例

○清水 佑一<sup>1</sup>, 佐々木 高綱<sup>1</sup>, 中山 勇樹<sup>2</sup>, 堀 亨<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 大崎市民病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup> 東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

#### 54 顔面神経麻痺から発症し、複数の下位脳神経麻痺を呈した頭蓋底骨髄炎の1例

○綾仁 悠介, 萩森 伸一, 河田 了

大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

#### 55 ハント症候群に随伴したVZV脳炎: MRI画像による検討

○稲垣 彰, 村上 信五

名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

## 第11群：鼻副鼻腔1

座長：原淵保明（旭川医科大学）

松原 篤（弘前大学）

### 56 脳膿瘍を合併した浸潤性副鼻腔真菌症の1例

○中村 陽祐<sup>1</sup>, 藤井 太平<sup>1</sup>, 横山 裕子<sup>1</sup>, 渡部 佑<sup>1</sup>, 中島 賢一朗<sup>2</sup>, 竹内 裕美<sup>1</sup>

<sup>1</sup>鳥取大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

<sup>2</sup>松江赤十字病院耳鼻咽喉科頭頸部外科

### 57 鼻噴霧用ステロイドによるアレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎の病態の制御についての検討

○井上 なつき, 横井 佑一郎, 両角 尚子, 高畑 喜臣, 宮下 文織, 久保田 俊輝, 穂山 直太郎, 吉川 衛

東邦大学大橋病院耳鼻咽喉科

### 58 内視鏡下鼻内手術および抗真菌薬で加療したムーコル症の2例

○宮下 恵祐<sup>1</sup>, 細川 悠<sup>1</sup>, 青木 聡<sup>1</sup>, 海邊 昭子<sup>1</sup>, 春名 眞一<sup>2</sup>, 田中 康広<sup>1</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学埼玉医療センター

<sup>2</sup>獨協医科大学耳鼻咽喉科

### 59 当科で手術加療を行った副鼻腔真菌症症例の検討

○麻生 沙和, 勢井 洋史, 羽藤 直人

愛媛大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

### 60 侵襲性副鼻腔真菌症の診断と治療—当科で経験した10症例の検討—

○川内 秀之

島根大学耳鼻咽喉科

### 61 スエヒロタケが原因と考えられた眼窩骨膜下膿瘍の1例

○角田 梨紗子, 野口 直哉, 鈴木 貴博, 東海林 史, 粟田口 敏一, 太田 伸男

東北医科薬科大学耳鼻咽喉科

## 第12群：感染対策

座長：保富宗城（和歌山県立医科大学）

### 62 病棟で発生したMRSAアウトブレイクからの教訓 ～第2報～

○菅野 真史, 藤枝 重治

福井大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

### 63 当院の耳鼻咽喉科診療における感染対策の取り組み

○小島 雅貴<sup>1</sup>, 大峽 慎一<sup>1</sup>, 藤巻 充寿<sup>1</sup>, 堀 賢<sup>2</sup>, 池田 勝久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>順天堂大学感染制御学

## 64 当科病棟処置における感染対策の効果—MRSA 患者数の推移について—

○小泉 洸, 椎名 和弘, 山田 武千代

秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

---

9月8日 土 10:30～12:00 第1会場(3階:ホール)

## 感染症シンポジウム「多職種で挑む致死性感染症」

耳鼻咽喉科領域講習

司会: 竹内万彦 (三重大学)

小林一女 (昭和大学)

### 1 悪性外耳道炎(頭蓋底骨髄炎)

○高橋 邦行

新潟大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 2 急性浸潤性副鼻腔真菌症

○森 恵莉

東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科

### 3 劇症型溶連菌感染症

○宮澤 徹

金沢医科大学耳鼻咽喉科

### 4 降下性壊死性縦隔炎

○平野 康次郎

昭和大学耳鼻咽喉科

### 追加発言

○矢野 寿一

奈良県立医科大学微生物感染症学

---

9月8日 土 13:20～14:10 第1会場(3階:ホール)

## 第13群: 鼻副鼻腔3

座長: 池田勝久 (順天堂大学)

岡野光博 (国際医療福祉大学)

### 65 造血幹細胞移植後における副鼻腔炎の臨床的検討

○阿河 光治

富山県立中央病院耳鼻いんこう科

### 66 抜歯治療が行われた歯性上顎洞炎症例の臨床検討

○都築 建三, 橋本 健吾, 岡崎 健, 阪上 雅史

兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 67 鼻中隔膿瘍の1例

○山木 英聖, 林 達哉, 原渕 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 68 骨蠟による難治性前頭洞炎の1例

○端山 昌樹, 猪原 秀典  
大阪大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 69 緑膿菌を原因菌とした鼻性視神経炎の1例

○山本 学慧<sup>1</sup>, 塩野 理<sup>1</sup>, 丹羽 一友<sup>1</sup>, 青山 準<sup>1</sup>, 鬼島 菜摘<sup>1</sup>, 折館 伸彦<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 横浜労災病院耳鼻咽喉科

<sup>2</sup> 横浜市立大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

---

9月8日 土 15:00～16:30 第1会場(3階:ホール)

## 第286回ICD講習会 テーマ「多剤耐性菌の感染防御と対策」

司会：矢野寿一（奈良県立医科大学微生物感染症学）

飯沼由嗣（金沢医科大学臨床感染症学）

### 1 薬剤耐性菌（AMR）対策の概要

○飯沼 由嗣  
金沢医科大学臨床感染症学

### 2 薬剤耐性菌の現状

○矢野 寿一  
奈良県立医科大学微生物感染症学

### 3 抗微生物薬適正使用について

○林 達哉<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 小児急性中耳炎診療ガイドライン作成委員会  
<sup>2</sup> 旭川医科大学頭頸部癌先端的診断・治療学

### 4 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動の実際

○河合 泰宏<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup> 金沢医科大学臨床感染症学  
<sup>2</sup> 金沢医科大学病院抗菌薬適正使用支援チーム（AST）  
<sup>3</sup> 金沢医科大学病院感染制御室

**第14群:耳1**

座長:吉崎智一(金沢大学)

伊藤真人(自治医科大学とちぎ子ども医療センター)

**70 外耳道閉鎖術にて耳漏コントロール後に行った人工内耳挿入術の1例**

○岸本 真由子, 山中 俊平, 小川 徹也, 植田 広海

愛知医科大学耳鼻咽喉科

**71 当院で経験した悪性外耳道炎の2例**

○栃木 康佑, 宮下 恵祐, 井原 伽奈子, 田中 康広

獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉科

**72 真珠腫性中耳炎による耳性頭蓋内合併症の1例**

○竹内 絵里香, 稲垣 彰, 村上 信五

名古屋市立大学耳鼻咽喉科

**73 MRSA 中耳炎罹患後に人工内耳埋込み術を施行した2例**

○菅谷 明子, 假谷 伸, 片岡 祐子, 前田 幸英, 小山 貴久, 西崎 和則

岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

**74 隠蔽性乳様突起炎から波及した Bezold 膿瘍症例**

○梅本 真吾, 平野 隆, 鈴木 正志

大分大学耳鼻咽喉科

**75 デノスマブ投与後に発症し急激に進行した外耳道真珠腫例**

○堤 剛

東京医科歯科大学耳鼻咽喉科

**第15群:耳2**

座長:阪上雅史(兵庫医科大学)

西崎和則(岡山大学)

**76 耳漏から耐性菌が検出された症例の検討**

○仲野 敦子, 有本 友季子

千葉県こども病院耳鼻咽喉科

**77 好酸球性中耳炎と細菌感染**

○松原 篤, 山内 一崇, 高畑 淳子

弘前大学耳鼻咽喉科



## 78 小児急性中耳炎診療ガイドライン 2018 年版について

○林 達哉<sup>1,2,3</sup>, 宇野 芳史<sup>3</sup>, 喜多村 健<sup>3</sup>, 工藤 典代<sup>3</sup>, 澤田 正一<sup>3</sup>, 泰地 秀信<sup>3</sup>, 高橋 吾郎<sup>3</sup>,  
高橋 晴雄<sup>3</sup>, 橋本 省<sup>3</sup>, 保富 宗城<sup>3</sup>, 矢野 寿一<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

<sup>2</sup> 旭川医科大学頭頸部癌先端的診断・治療学

<sup>3</sup> 小児急性中耳炎診療ガイドライン作成委員会

## 79 小児急性中耳炎の治療抵抗因子・予後予測因子の検討

○保富 宗城, 平岡 政信, 河野 正充, 村上 大地, 酒谷 英樹

和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 80 当院における小児急性中耳炎, 鼓膜切開例の報告

○上出 洋介

かみで耳鼻咽喉科クリニック

## 81 小児急性乳様突起炎の 2 症例：排膿法の工夫について

○田中 久美子<sup>1</sup>, 角田 篤信<sup>1</sup>, 木村 優里<sup>1</sup>, 小野 倫嗣<sup>1</sup>, 池田 勝久<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 順天堂大学練馬病院耳鼻咽喉・頭頸科

<sup>2</sup> 順天堂大学耳鼻咽喉・頭頸科

---

9月8日 土 11:00～12:00 第2会場 (2階:第1会議室)

## 第16群：鼻副鼻腔2

座長：太田伸男（東北医科薬科大学）

吉山友二（北里大学薬学部）

## 82 小児急性鼻副鼻腔炎における鼻腔内よりの細菌検出率についての検討

○澤田 正一

さわだ耳鼻咽喉科・眼科

## 83 小児急性鼻副鼻腔炎の上顎洞内貯留液からの Real-time PCR を用いた呼吸器系ウィルス及び細菌の検討

○松原 茂規<sup>1</sup>, 澤田 正一<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 松原耳鼻いんこう科医院

<sup>2</sup> さわだ耳鼻咽喉科・眼科

## 84 小児鼻性眼窩内合併症 8 例の検討

○井原 伽奈子, 細川 悠, 栃木 康佑, 宮下 恵祐, 田中 康広

獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉科

## 85 鼻副鼻腔炎治療および術後管理としての吸気に同期する新規加圧振動型ネブライザー補助デバイスの試作

○兵 行義<sup>1</sup>, 高野 頌<sup>2</sup>, 原 浩貴<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 川崎医科大学耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>同志社大学バイオマイクロフルイディクサイエンス研究センター

## 86 鼻アレルギー患者における高張食塩水による鼻腔洗浄効果

○大木 幹文<sup>1</sup>, 鈴木 立俊<sup>2</sup>, 吉山 友二<sup>3</sup>, 高野 頌<sup>4</sup>

<sup>1</sup>北里大学メディカルセンター耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>北里大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

<sup>3</sup>北里大学薬学部保険薬局学

<sup>4</sup>同志社大学バイオマイクロフルイディクサイエンス研究センター

## 87 実験と数値計算モデルを用いた鼻腔内気流と鼻腔抵抗値の評価

○金田 将治<sup>1</sup>, 飯田 政弘<sup>1</sup>, 山本 光<sup>1</sup>, 関根 基樹<sup>1</sup>, 高倉 葉子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東海大学耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>東海大学工学部動力機械工学科

---

9月8日 **土** 12:10～13:10 第2会場(2階:第1会議室)

### ランチョンセミナー3

司会: 吉原俊雄(東都文京病院)

抗菌薬に対する薬剤耐性(AMR)菌時代の小児急性中耳炎の治療と診断

—「小児急性中耳炎診療ガイドライン2018年版」を読み解く—

○宇野 芳史

宇野耳鼻咽喉科クリニック

共催: Meiji Seika ファルマ株式会社

---

9月8日 **土** 13:20～14:00 第2会場(2階:第1会議室)

### 第17群: 咽頭1

座長: 中田誠一(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院)

山下 拓(北里大学)

## 88 化学焼灼療法を行った右下咽頭梨状窩瘻の1例

○森川 大樹, 齋藤 和也, 藤田 岳, 土井 勝美

近畿大学耳鼻咽喉科

## 89 下咽頭梨状窩瘻に対する瘻管摘出術の時期と術式の検討

○翁長 龍太郎<sup>1</sup>, 島田 茉莉<sup>1</sup>, 加瀬 希奈<sup>1,2</sup>, 伊藤 真人<sup>3</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学耳鼻咽喉科

<sup>2</sup>金沢大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

<sup>3</sup>自治医科大学小児耳鼻咽喉科

## 90 多彩な臨床症状を呈した扁桃周囲炎の1例

○門脇 誠一, 谷野 絵美, 余田 敬子

東京女子医科大学東医療センター耳鼻咽喉科

## 91 耳下腺膿瘍の2症例

○阿部 俊彦, 桑島 秀, 佐藤 宏昭  
岩手医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

---

9月8日 土 14:00～14:50 第2会場(2階:第1会議室)

## 第18群:咽頭2

座長:將積日出夫(富山大学)  
竹内裕美(鳥取大学)

## 92 経口的に切開排膿をし得た魚骨異物摘出後に生じた咽後膿瘍の1例

○小山 貴久<sup>1</sup>, 假谷 伸<sup>1</sup>, 野田 実里<sup>1</sup>, 檜垣 貴哉<sup>1</sup>, 菅谷 明子<sup>1</sup>, 片岡 祐子<sup>1</sup>, 岡野 光博<sup>2</sup>,  
西崎 和則<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学

<sup>2</sup>国際医療福祉大学耳鼻咽喉科

## 93 気道狭窄を来した高齢者側索咽後膿瘍の1例

○木村 優里<sup>1</sup>, 角田 篤信<sup>1</sup>, 田中 久美子<sup>1</sup>, 小野 倫嗣<sup>1</sup>, 池田 勝久<sup>2</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学練馬病院耳鼻咽喉・頭頸科

<sup>2</sup>順天堂大学耳鼻咽喉・頭頸科

## 94 両側扁桃周囲膿瘍の3例

○雑賀 太郎, 兵 行義, 浜本 真一, 三宅 宏徳, 田所 宏章, 原 浩貴  
川崎医科大学耳鼻咽喉科

## 95 当科における扁桃周囲膿瘍症例の検討

○藤川 直也, 山下 拓  
北里大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

## 96 歯ブラシ外傷後に膿瘍形成を認めた小児の1例

○西村 省吾, 橋本 誠, 菅原 一真, 山下 裕司  
山口大学耳鼻咽喉科

---

9月8日 土 15:00～16:30 第2会場(2階:第1会議室)

## 専門医共通講習「多剤耐性菌の感染防御と対策」

共通講習(感染対策)

(第1会場のICD講習会(p.22)の中継)

---

9月8日 土 16:30～16:35 第2会場(2階:第1会議室)

## 閉会の辞

三輪 高喜(金沢医科大学)

## 謝 辞

本学会の開催・運営にあたり、下記の団体並びに企業より多大なるご援助を頂きました。  
心より感謝申し上げます。

第6回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会  
会長 三輪 高喜

### セミナー協賛

杏林製薬株式会社  
大鵬薬品工業株式会社  
Meiji Seika ファルマ株式会社

### 展示

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
株式会社精研  
セオリアファーマ株式会社  
第一医科株式会社  
株式会社ディヴインターナショナル  
株式会社東京鼻科学研究所  
永島医科器械株式会社  
ニールメッド・ファーマスーティカルズ株式会社  
村中医療器株式会社  
株式会社メディアート  
株式会社モリタ製作所

### 広告

第一薬品産業株式会社      富士フィルムファーマ株式会社  
アステラス製薬株式会社      グラクソ・スミスクライン株式会社  
マキチエ株式会社

### 寄付

富木医療器株式会社  
石川県医師会  
石川県耳鼻咽喉科医会  
石川県  
金沢市  
公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会（SPIO）  
金沢医科大学  
金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室同門会



（敬称略，順不同）

---

第 6 回日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会  
総会・学術講演会プログラム集

平成 30 年 8 月 20 日 印刷

平成 30 年 9 月 1 日 発行

発行所 金沢医科大学耳鼻咽喉科学  
〒 920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1  
TEL: 076-286-2211 FAX: 076-286-5566  
E-mail: iao6@kyodo-cs.com

印刷所 中西印刷株式会社  
〒 602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル  
TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050

---



私たちの使命は

「生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer」

Do more,  
feel better,  
live longer

グラクソ・スミスクラインは、科学に根ざした  
グローバルヘルスケア企業です。

「生きる喜びを、もっと」を使命に、世界中の  
人々がより充実して心身ともに健康で長生き  
できるよう、生活の質の向上に全力を尽くして  
いきます。

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR  
<http://jp.gsk.com>

FUJIFILM

Value from Innovation

ニューキノロン系経口抗菌剤

**アベロックス<sup>®</sup>錠400mg**

**Avelox<sup>®</sup>** モキシフロキサシン塩酸塩錠 薬価基準収載

劇薬、処方箋医薬品<sup>※</sup> 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること ®: バイエルグループの登録商標

● 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については  
製品添付文書をご参照ください。

販売元(資料請求先) **富士フイルム ファーマ株式会社** 東京都港区西麻布二丁目26番30号  
お客様相談室 0120-121210

製造販売元 **バイエル薬品株式会社** 大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

2017年3月作成

MakiChié

## ADRO<sup>®</sup>搭載機器なら、より自然に近い音



ADRO<sup>®</sup>(アドロ)は人工内耳、補聴器に搭載されている音声最適化機能です。音環境の変化に応じて聞きやすい音量に自動的に調整することで自然に近い音を実現できるよう設計されています。

Adaptive Dynamic Range Optimization

# ADRO<sup>®</sup> | アドロ

マキチエ株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-3 営業時間：平日 9：00～17：00(土日祝日を除く)  
お問い合わせ 03-3277-2544 ホームページ <http://makichie.co.jp>

まだないくすりを  
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。





# 嗅覚

か  
く

のおとろえは重大です。



ニオイに鈍感になると  
危険がいっぱいです。



腐敗臭



ガスもれ

火災煙



嗅覚のおとろえには  
多くの要因があります。

副鼻腔炎  
(ちくのう症)

アレルギー性鼻炎  
花粉症

感冒(かぜ)

頭部外傷

加 齢

パーキンソン病  
アルツハイマー病

第一薬品産業は嗅覚検査の  
リーディングカンパニー。  
第一薬品産業は、日本で唯一となる医療  
用の基準嗅覚検査をはじめ、様々な嗅覚  
検査キットを製造販売しており、嗅覚に関  
する啓発活動も積極的に行っております。



## ① 第一薬品産業株式会社

本社 □ 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-6-16 K・Kビル 4F  
☎ 03-3666-6773 FAX 03-3666-0598

当社のホームページ: <http://www.j-ichiyaku.com/>

みんなの嗅覚: <http://minnano-kyukaku.com/>

嗅ぐや姫日記: <http://www.facebook.com/minnano.kyukaku>

